

○2月「赤ちゃん&子どもアート鑑賞会」(担当：野田)

講師：富田めぐみ氏

(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代理理事)

開催日：2025年2月16日(日)全3回

①9:30-10:30 ②11:00-12:00 ③13:15-14:15

定員：各回5組10名程度 0歳～小学生まで(保護者同伴)

参加者数：①子ども8名、大人9名、合計17名

②子ども6名、大人8名、合計14名

③子ども9名、大人8名、合計17名 のべ48名

参加費：無料(大人は企画展・常設展共通観覧料800円が必要)

今回で4年目を迎えた鑑賞会では、徐々にリピーターも増え、その後生まれた弟や妹を伴っての参加もありました。

最初は、講義室でガイダンスを行います。「今日は泣いてしまっても、お話ししてもOKという鑑賞会です」という講師の先生のお話しに、子どもも大人も安心して聞き入ります。マットの上では、赤ちゃん同士ハイハイで近寄ったりとコミュニケーションが始まっていて「はじめのガイダンスから楽しそうにしている来てよかった」(0歳5ヵ月)との感想もありました。

展示室に入ると、最初は自由に絵を見てまわります。その中から「好きな絵」「ちょっと怖い絵」「何だかよく分からないけど気になる絵」を見つけて、保護者や先生と話したり、字の書ける子は記入シートに書いたりシールでマークするなどします。

その次に、皆で展示室をまわりながら、気になった絵があったところでお話ししてもらいました。横130cmもある大きな絵《室内》(1939年)(3枚目の写真の左)は、鑑賞会では気になる子が多い



作品です。今回は「なんかこわい」(2歳11ヵ月)、「たくさん目がある。一番楽しい」(4歳10ヵ月)、「青いところが好き」(5歳8ヵ月)等の意見がありました。中央の青と赤のタペストリーの柄が目のように見えたり、不思議な雰囲気を出しているのを感じていたようです。子どもが生き生きと発言する姿に「自分から発表するとは思わなかった」(3歳0ヵ月)、「どんなところをどう思ったのか伝えることができ、いつもと違う一面を見れて新鮮でした」(3歳0ヵ月)等の感想もありました。



回によっては、展示室から講義室に戻り、モニターに作品を映して感想を話し合います。1、2歳児の歩ける子は『次の絵』、『次の絵』と言ってすぐ進んでしまおう、というお母さんに先生は「興味に移るのが早いのは、1、2歳児の特徴です。一つの作品を無理にずっと見せようとせずに、次々と移っていても大丈夫」と。家に帰ってしばらく経ってから絵のことを話し出すこともあるそうです。赤ちゃんの反応としては「赤と黄色の絵を気にしていた」(0歳5ヵ月)、「走るお兄ちゃんを目で追ったり、絵をじーっと見ていたり、手を上げたり、声を出したりしていた」(0歳10ヵ月)等、様々でした。

当館では今後も、年齢を問わずご来館いただけるようイベント等を通じて呼びかけていこうと考えます。